30cmリビングDC扇風機保証書

本書は、お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に製品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
(ロ)お買上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、株式会社ユーイングにご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社ユーイングへご連絡ください。
4.保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(イ)ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ)お買上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ)本書のご提示のない場合。
(ト)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6.本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を厳守させますので、ご了承ください。

品番	UF-DHR30F		
保証期間	対象部分	期間（お買上げ日より）	保証の条件
	本体	1年	持込修理
お買上げ日	年　月　日		
お客様	お名前 ご住所 電話　様		
販売店	販売店名 ご住所 電話　印		

株式会社ユーイング

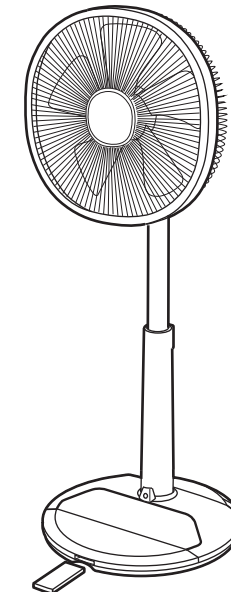
【お客様相談室】TEL 0120-911-597（無料）

〒639-1124　奈良県大和郡山市馬司町800番地

受付け時間　：　月曜日から金曜日（祝日・当社休日は除く）午前9時～午後5時

30cmリビング DC扇風機 取扱説明書

品番　UF-DHR30F

このたびは、扇風機をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」(P1～P2)を必ずお読みください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

保証書添付

ターボ風　マイコン

リズム風　8時間入/切 独立タイマー

リモコン　センサー

左右自動首振り　上下自動首振り

愛情点検　長年ご使用の扇風機の点検を!!

ご使用の際このような症状はありませんか？

・スイッチを入れても、羽根が回らない。
・羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
・回転する時に異常な音や振動がする。
・モーター部が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
・電源コードが折れ曲がったり破損している。
・電源コードを触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。
・その他の異常、故障がある。

→ ご使用中止
故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

もくじ

安全上のご注意

■ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。

この扇風機は、羽根の回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ず守っていただくことを説明しています。

■誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意　傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)

この記号は、してはいけない『禁止』内容です。

この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

製品に異常がある場合(こげ臭いにおいなど)は、ただちに使用を中止し、差込みプラグを抜く。
●ケガや発火の原因。

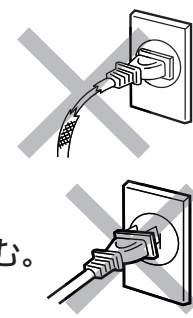
分解禁止
絶対に分解したり、修理・改造をしない。
●異常動作してケガや発火の原因。

禁止
羽根・ガード・スタンドベースをつけずに、高さ調節ボタンを押したり、運転しない。
●ケガの原因。

プラグを抜く
組み立て・お手入れのときは、必ず差込みプラグを抜く。
●ケガや感電の原因。

禁止
交流100V以外では使用しない。
●火災・感電の原因。

水ぬれ禁止
水につけたり、水などをかけたりしない。
●ショート・感電の原因。

ぬれ手禁止
ぬれた手で抜き差ししない。
●感電の原因。

禁止
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。
●電源コードが破損し、火災、感電の原因。

禁止
電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
また、差込みプラグは根元まで確実に差し込む。
●感電・ショート・発火の原因。

差込みプラグのほこりは、定期的にふき取る。
●火災の原因。

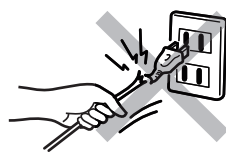
禁止
差込みプラグとコンセントの間に、ホコリや金属や水分を付着させない。
●感電・ショート・発火の原因。

リチウム電池は、幼児の手の届かない所に置く。
●万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

注意

禁止
風を長時間、からだにあてない。
●体調不良・健康障害の原因。

接触禁止
ガードの中や可動部へ指などを入れない。
●ケガの原因。

本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する。
●ケガや故障の原因。

プラグを抜く
使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く。
●ケガややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

プラグを抜く
差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たず、差込みプラグを持って抜く。
●火災・感電・ショートの原因。

禁止
油や薬品のかかる場所で使用しない。
スプレーをかけない。
(殺虫剤、整髪用、掃除用など)
●破損の原因。

禁止
次の場所では、使わない。
(ガスレンジなどの炎の近く、引火性ガスのある所、雨や水のかかる場所)
●火災・感電・ショートの原因。

禁止
障害物(カーテンなど)の周囲や不安定な場所で使用しない。
●破損・故障・ケガの原因。

禁止
製品を倒さない。
●破損・故障・事故の原因。

扇風機カバーをご使用の場合、定期的にホコリなどをとる。
●故障や事故の原因。

知っておいていただきたいこと

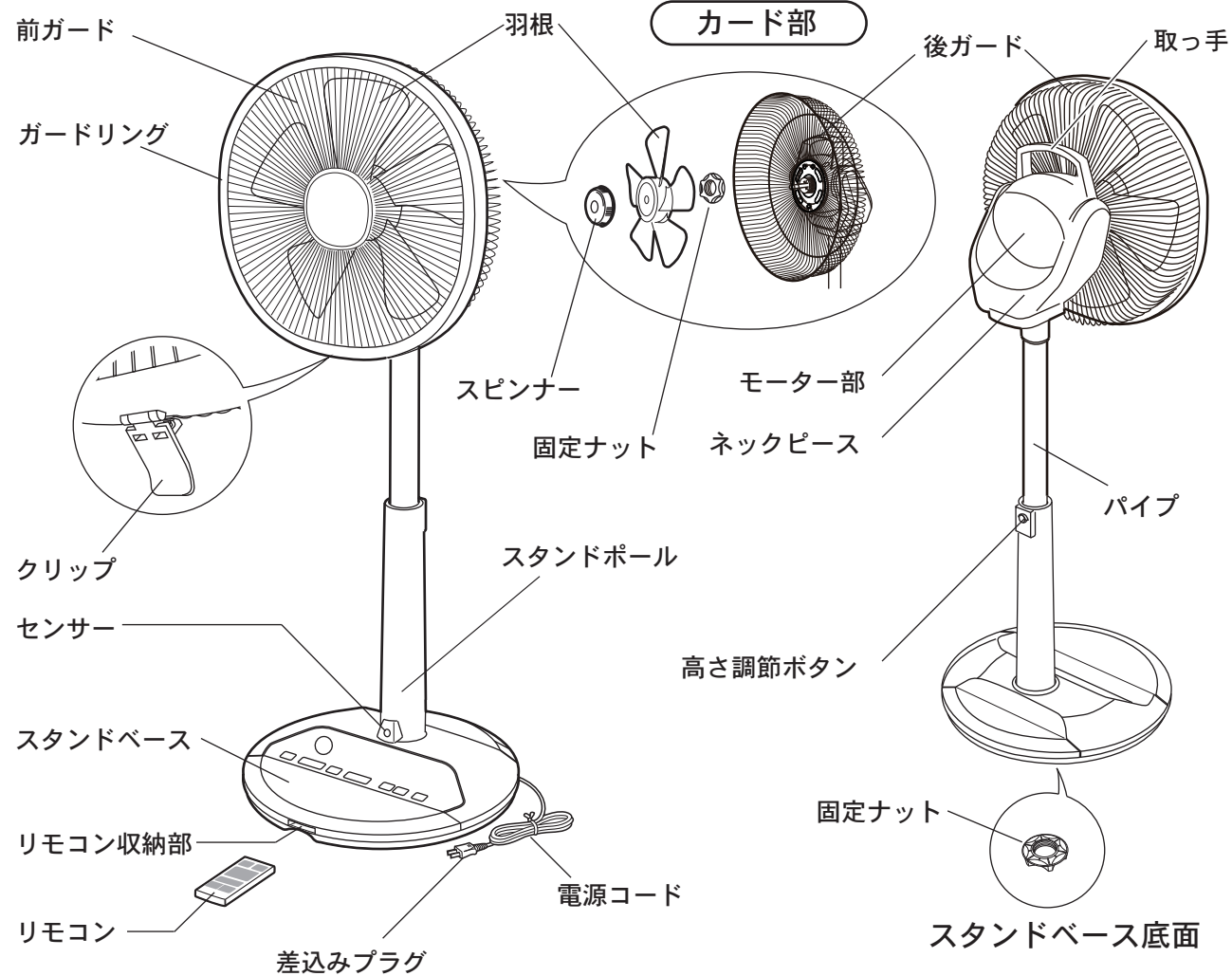
■はじめてご使用になるときは、少し臭いが発生することがありますが、ご使用にともない消えます。
■差込みプラグをコンセントに差し込んだ状態では、操作パネルが少し熱くなることがありますが、故障ではありません。
■テレビ・ラジオにノイズが入ったり、電波時計が正しく時計表示しないときは、扇風機をできるだけ離してご使用ください。

各部の名称

前面

前ガード
ガードリング
羽根
カード部
クリップ
センサー
スタンドベース
リモコン収納部
リモコン
差込みプラグ
電源コード
スタンドポール
スピンナー
固定ナット

背面

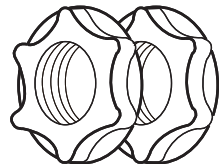
後ガード
取っ手
モーター部
ネックピース
パイプ
高さ調節ボタン
固定ナット

スタンドベース底面

＜内容物＞

リモコン1個

リモコン収納部に入っています。

リチウム電池1個
(CR 2032 DC3V)

リモコンに入っています。

固定ナット2個
(ガード用スタンド用共通)

スタンドポール底面とモーター部についています。

スピンナー1個

モーター部についています。

チューブ1本

モーター部についています。

※製品は、絵と少し違うことがあります。

組み立て方

●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。
●包装ケースは、保管するときに必要ですから捨てないでください。

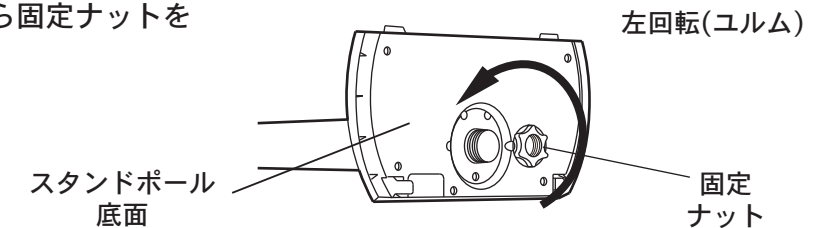
⚠警告	禁止	組み立て前、組み立て中に差込みプラグをコンセントに差し込まない。 ●モーター軸が回り出し、ケガの原因。

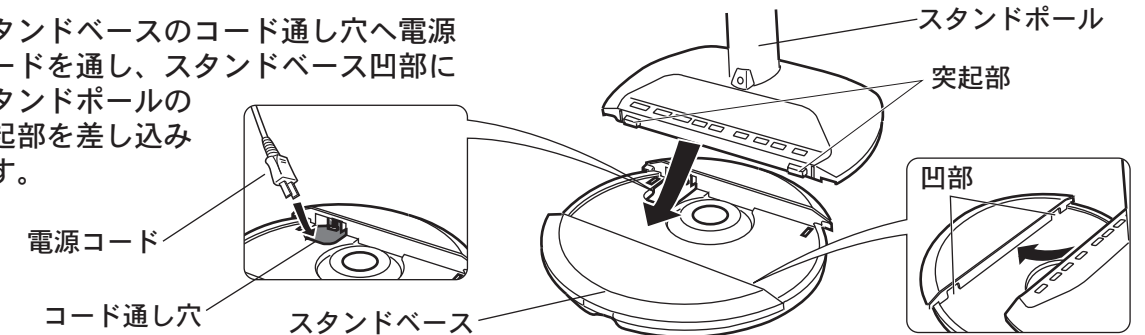
1 スタンドベースとスタンドポールを組み立てます。

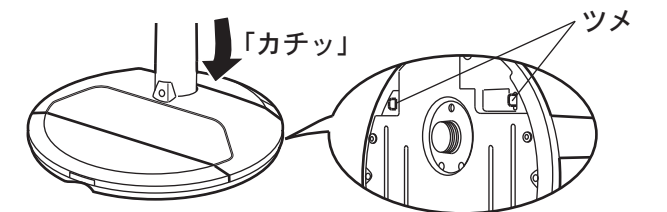
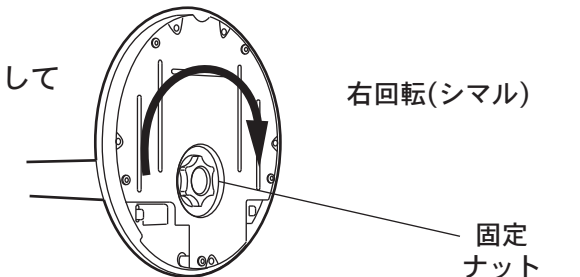
⚠警告	禁止	組み立て前、組み立て中に『高さ調節ボタン』を押さない。 ●モーター部が飛び出して、ケガの原因。

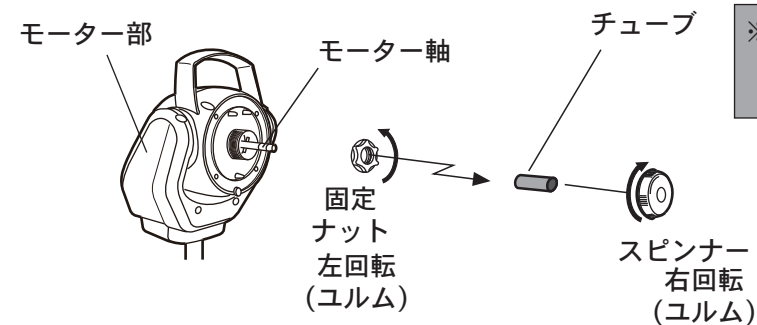
※スタンドポールは単体では立ちません。組み立て前は横向きに倒してください。

① スタンドポールの底面から固定ナットをはずします。

左回転(ユルム)
スタンドポール底面
固定ナット

② スタンドベースのコード通し穴へ電源コードを通し、スタンドベース凹部にスタンドポールの突起部を差し込みます。

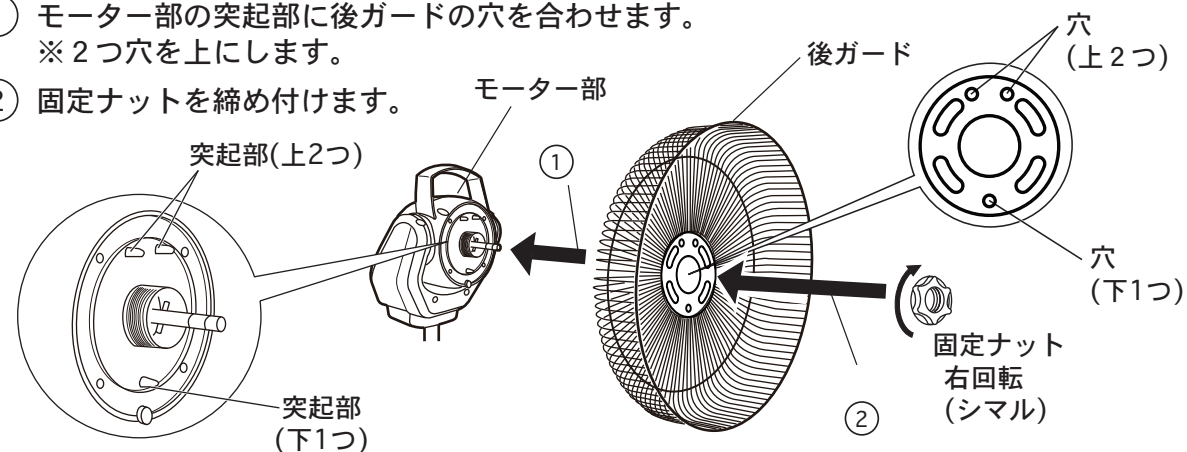
スタンドポール
突起部
凹部
電源コード
コード通し穴
スタンドベース

③ ツメが「カチッ」と音がするまで、スタンドポールをスタンドベースに押し込みます。

「カチッ」
ツメ

④ スタンドベースを固定ナットでしっかりと固定してください。

2 モーター部の下記部品をはずします。

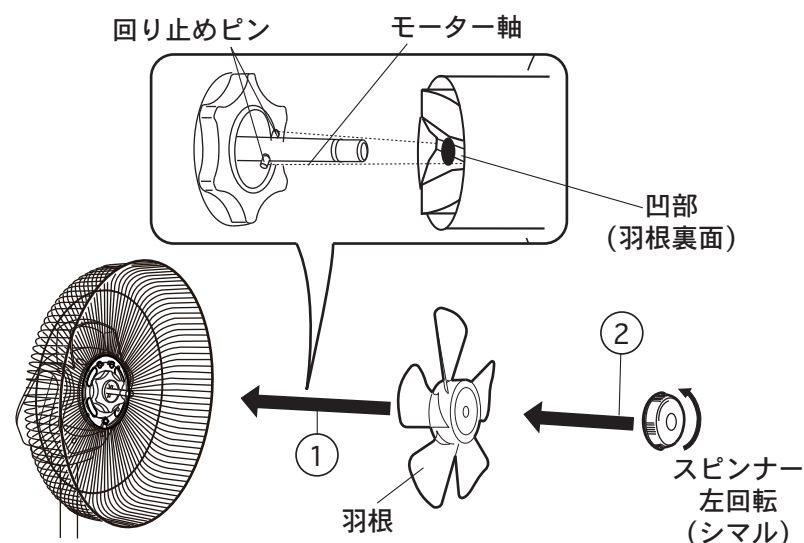
① スピンナー・固定ナット・チューブを、モーター部からはずします。

※チューブは、扇風機を保管するときに、モーター軸のサビ防止のために使用しますので、大切に保管してください。

3 後ガードを取り付けます。

① モーター部の突起部に後ガードの穴を合わせます。
※２つ穴を上にします。

② 固定ナットを締め付けます。

4 羽根を取り付けます。

① 羽根の凹部とモーター軸の回り止めピンが合うように羽根を差し込みます。

② スピンナーで羽根をしっかり締め付けてください。

⚠警告	固定ナットとスピンナーは、ゆるまないようにしっかりと締め付けてください。 ●締め付けが不十分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因となります。

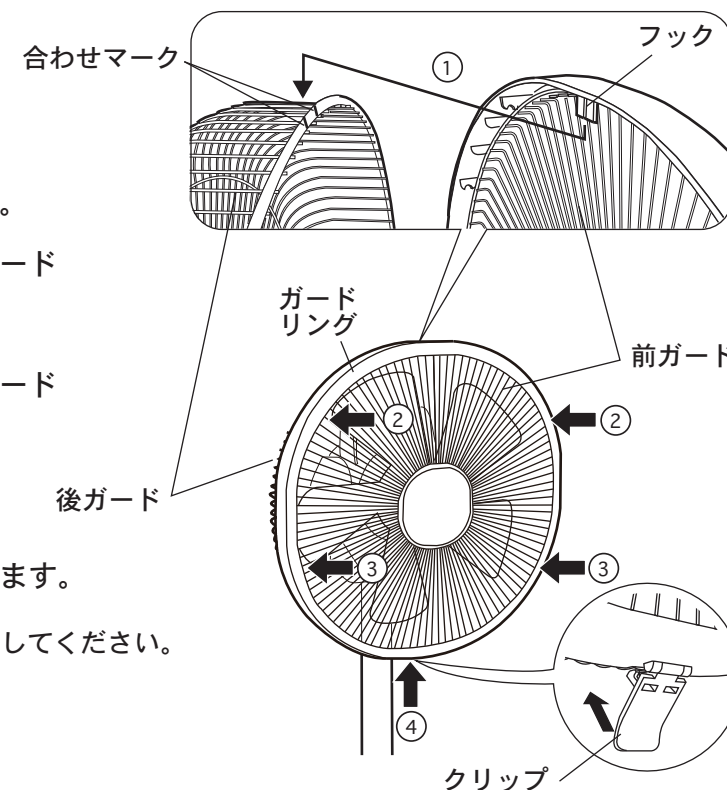
5 前ガードを取り付けます。

① 前ガードのフックを後ガードの合わせマークに合わせて掛けます。

② 前ガードを押さえて上半分を後ガードへ確実にはめ込みます。

③ 前ガードを押さえて下半分を後ガードへ確実にはめ込みます。

④ クリップを強く押し込んで固定します。

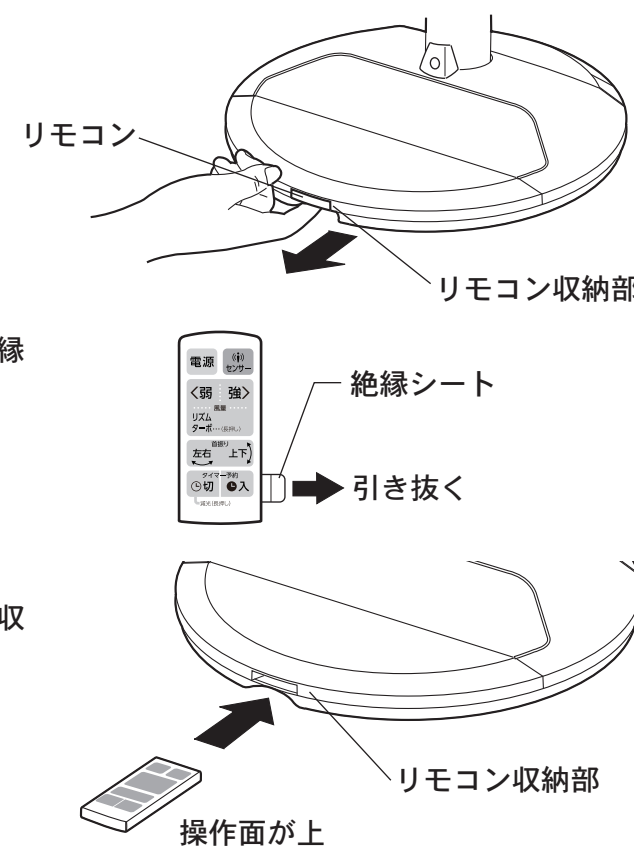
・前ガードがはずれないことを確認してください。

リモコンの準備

リモコンの取り出し/収納

① リモコン収納部に入っているリモコンを引き出して取り出してください。

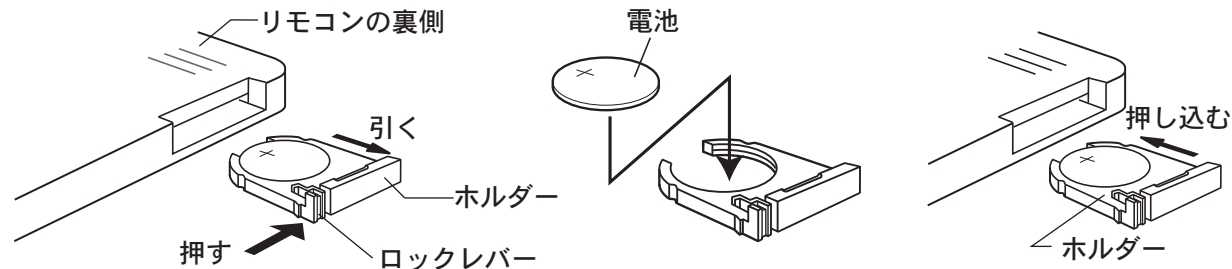
② はじめてご使用の際は、リモコンから絶縁シートを引き抜き、ご使用ください。

③ リモコンを使用しないときは、リモコン収納部に収納してください。

●収納する際、裏表を間違えると入りません。操作面を上に収納してください。無理やり入れると取り出せなくなる場合があります。

リモコン電池交換のしかた及びご注意

1 リモコンを裏返し、ロックレバーを矢印の方向に押しながらホルダーを図のようにはずします。

2 電池を正しく入れます。（必ず⊕面を上にすること）

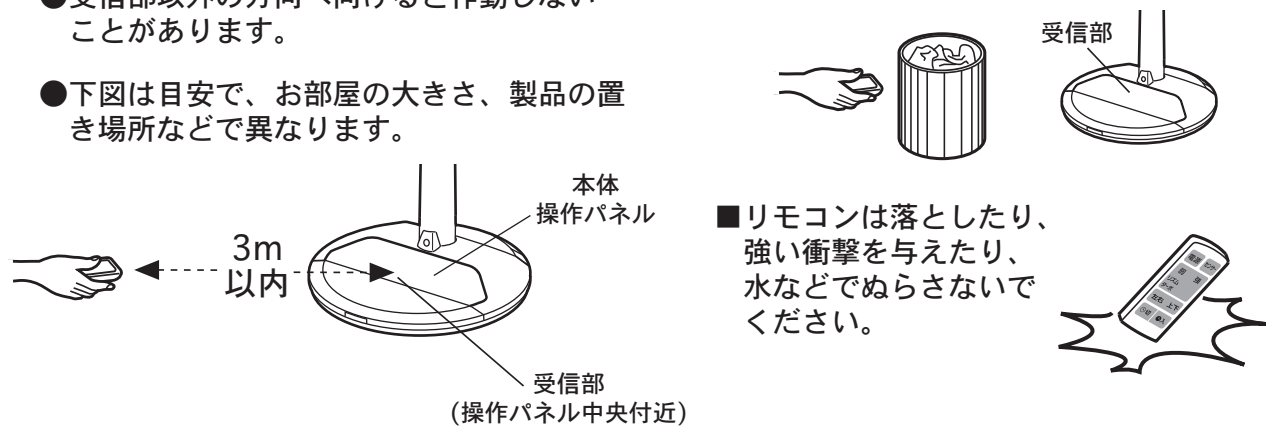
3 ホルダーを取り付けます。

ご注意

■付属の電池は、工場出荷時にセットされています。ご使用になるまでに、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。
■電池が飛び出さないようにゆっくりと引いて取り出してください。
■電池は、使い方を誤ると電池の液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂するおそれがあります。
■電池は、指定の電池（リチウム電池3.0V、品番CR2032）と交換してください。
■⊕⊖を上記のイラストに合わせて、正しく入れてください。
■電池は、充電・ショート・分解・加熱しないでください。
■使用済みの電池は、お住まいの地域のごみ分別方法に従って捨ててください。(捨てるときは、電池を1つずつセロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください。)
コイン形リチウム電池はお子様が誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
■長期間使用しないときは、電池を抜いてください。

リモコン操作上のご注意

■リモコンの送信部を本体操作パネル受信部に向けて操作してください。
●受信部以外の方向へ向けると作動しないことがあります。
●下図は目安で、お部屋の大きさ、製品の置き場所などで異なります。

■リモコンの送信部と本体操作パネル受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。

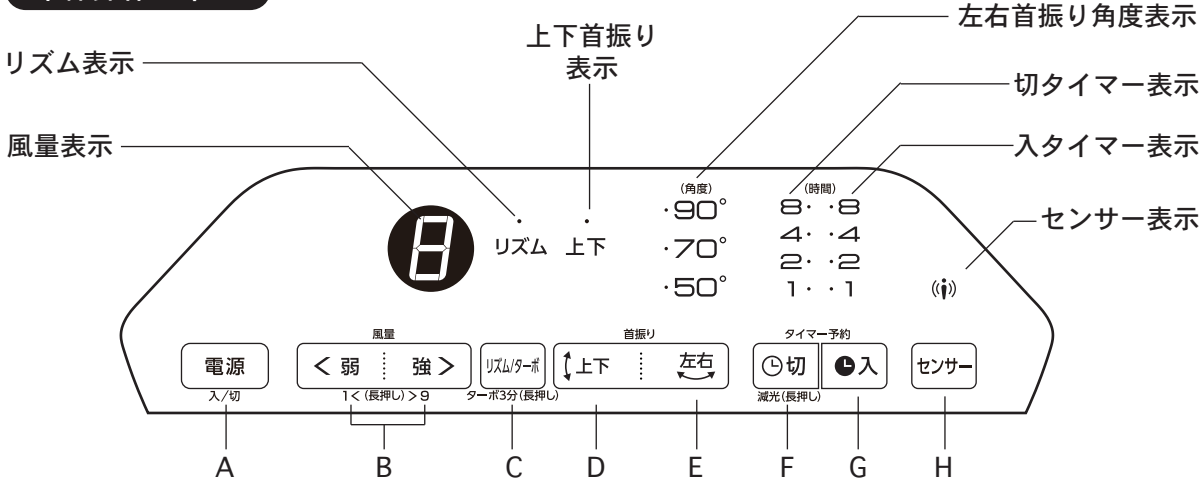
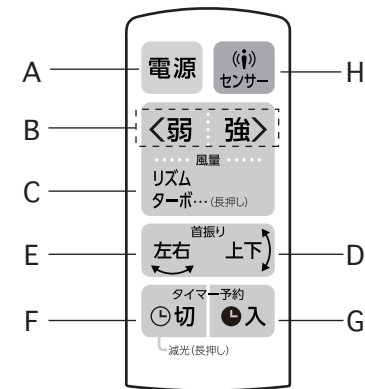
■リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。

■電池が消耗しますと、遠隔操作のできる範囲が狭くなります。動作しにくくなりましたら電池を交換してください。
■インバーター式の照明器具の下や、直射日光の下では、リモコンからの受信感度が落ち、作動しないことがあります。

使い方

■差込みプラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
■操作は、リモコンと本体操作パネルの両方でできます。
■差込みプラグを抜くときは、運転を停止してから行ってください。

⚠警告 禁止
操作パネル部に水・お茶・ジュース等を絶対にこぼさない。
こぼした場合はご使用を中止し、お買上げの販売店またはお客様相談室(裏表紙）にお問い合わせ。
●ショート・感電の原因になります。

操作部の名称

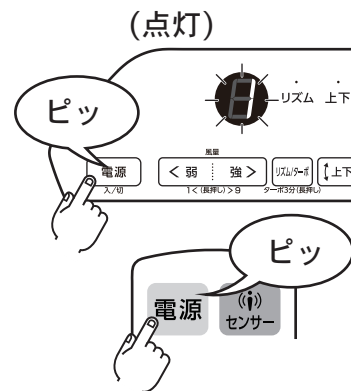
本体操作パネル

リモコン

操作部名称・動作一覧表

操作部名称	動作
A：電源入/切ボタン	運転開始／運転停止をします。
B：風量調節ボタン 弱/強	風量を調節します。
C：リズム/ターボボタン	リズム運転の開始/停止をします。 長押しでターボ運転をします。
D：上下首振りボタン	上下首振りの開始/停止をします。
E：左右首振りボタン	左右首振りの角度設定/停止をします。
F：切タイマーボタン	切タイマーの設定をします。 長押しで各表示の減光/解除をします。
G：入タイマーボタン	入タイマーの設定をします。
H：センサーボタン	センサー運転の開始/停止をします。

運転のしかた

■運転の開始/停止

●電源ボタンを押すと電源が入り、全ての表示部がスクロール点灯後、運転状態になります。
●運転中に電源ボタンを押すと表示ランプが消え、全ての運転が停止します。
※停止するとき、上下首振り位置は正面にもどります。
●再度電源ボタンを押すと、前回ご使用の風量設定・リズム設定・首振り設定・センサー設定で運転をします。

※初めてご使用になるとき、差込みプラグを抜かれたときは、風量設定『1』、リズム設定・首振り設定・センサー設定は全て『OFF』

メモリー機能について

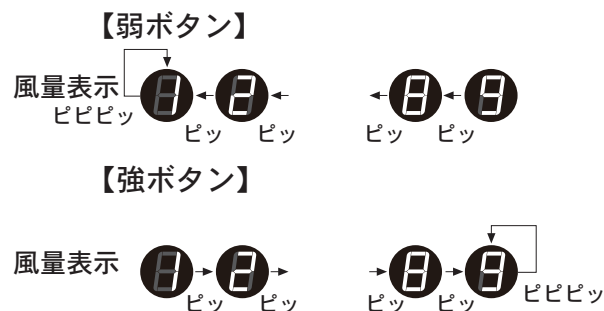
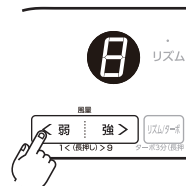
一度設定した運転状態で再度運転する記憶機能です。

●本体やリモコンの電源ボタンで運転を停止した場合、停止前の設定で運転を開始します。
●ターボ・入/切タイマー・減光表示の設定は記憶されません。
●停電や差込みプラグを抜くと、記憶されている内容は消えます。

■風量を調節する

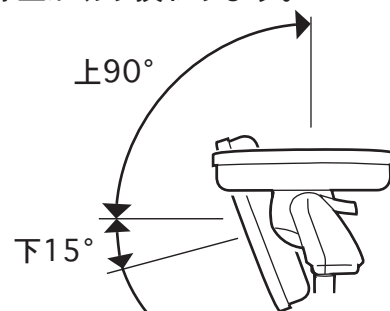
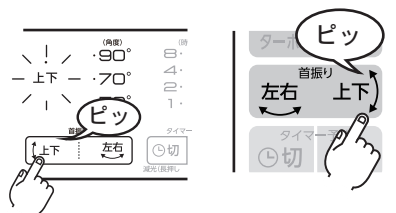
●風量調節ボタンを押すごとに、風量が切り換わり、風量表示が右図のように切り換わります。

【弱ボタン】

【強ボタン】

●すぐに1または9に風量を変えたい場合、風量調節ボタンを長押しすることで1または9に切り換わります。

■風向きの変え方

＜上下の風向きの変え方＞

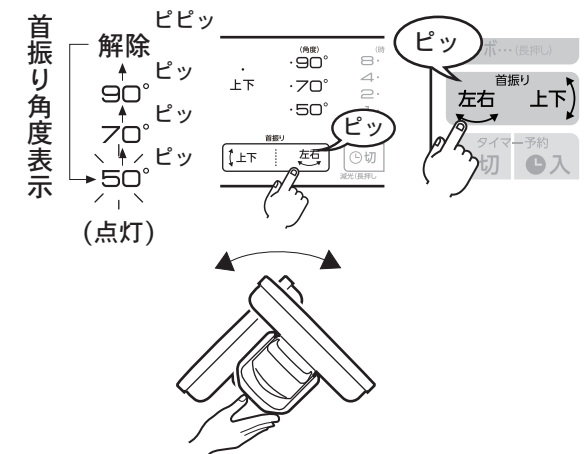
●上下首振り運転をするときは、上下首振りボタンを押すと、下図のように上下首振り表示が点灯し、上90°から下15°までの範囲で上下に首振りします。
●上下首振りボタンを押すごとに、上下首振り運転の開始/停止が切り換わります。

●上下の角度を調節するときは、上下首振りボタンを押して、お好みの位置でもう一度上下首振りボタンを押して止めてください。

※手動では上下の首の向きは変更できません。
必ず上下首振りボタンで操作してください。
●故障の原因です。

＜左右の風向きの変え方＞

●左右首振りボタンを押すと、右図のように首振り角度表示が点灯し、左右首振り範囲の角度が切り換わります。

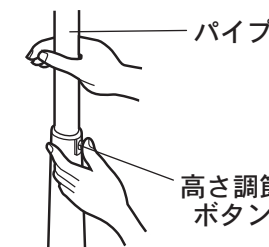
●左右の角度を調節するときは、ネックピース後部を持って左・右に変えます。

※指を挟まないように注意してください。

⚠警告	禁止	使用中にガードを持って、上下左右に風向きを変えない。 ●ガードを持って強く操作すると、ガードが羽根にあたる場合があり、羽根が破損してケガをする原因。
⚠注意	禁止	首振り運転中に、無理に風向きを変えたり、首振りを押えて止めない。 ●故障の原因。

ご注意

●上下・左右ともに、首振りの角度が両端のとき、一時的に止まることがあります。
首振り用モーターが位置を確認するために、一時的に空回りしているためで、異常ではありません。

■高さの調節

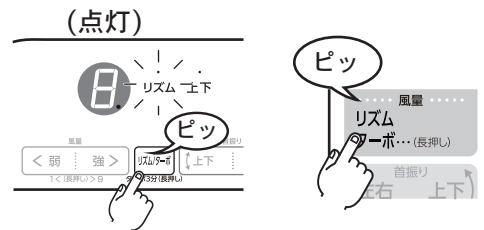
●高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上または下にスライドし、お望みの高さに調節してください。
●持ち運びする場合には、パイプを一番下に押し下げて固定してください。（中間では固定できません。）

⚠警告	禁止	羽根・ガード・スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押さない。 ●ケガの原因。

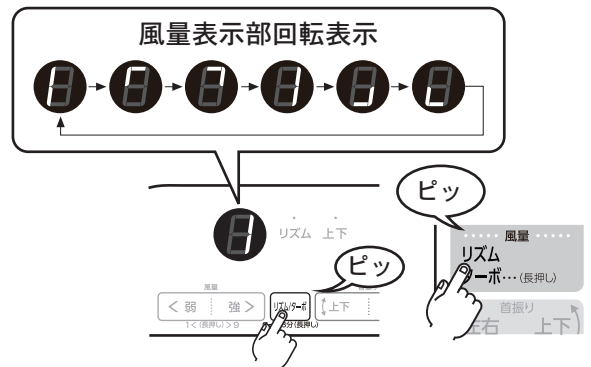
■扇風機を移動させるときのご注意

●扇風機を移動する際は、ガードにガタツキがないかを確認してください。
●羽根が回転している状態では移動しないでください。

便利な使い方

■リズム運転の開始/停止

●リズム/ターボボタンを押すと、リズムランプが点灯し、風量に変化をつけたリズミカルな運転に切り換わります。

■ターボ運転の開始/停止

●リズム/ターボボタンを長押しすると、風量表示が右図のように回転表示に変わり、3分間風量『9』より強い風量で運転します。
●長押しするたびに通常運転とターボ運転が切り換わります。
●3分経過すると、ターボ運転を開始する前に運転していたモードで運転を再開します。

ご注意

●ターボ運転中は、リズム/ターボボタンと電源ボタン以外は受け付けません。
●ターボ運転前にタイマー設定している場合は、解除されますので、ターボ運転終了後再設定してください。
●ターボ運転中は、センサー・上下首振り・左右首振り運転が停止します。ターボ運転終了後、再開されます。

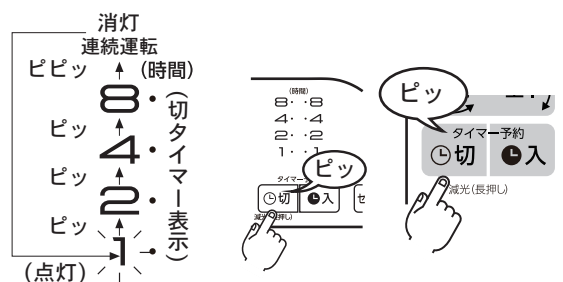
■タイマー運転

●『1』『2』『4』『8』時間の4段階でタイマーをセットすることができます。
●タイマー設定中に差込みプラグを抜いた場合や停電した場合は、初めから操作をやりなおしてください。

<切タイマーを設定する>
設定時間で運転を停止します。

※切タイマーは、運転中でないと設定できません。

●切タイマーボタン押すと、運転を停止するまでの時間を設定できます。
●押すたびに右図のようにタイマー設定時間が切り換わり、タイマー表示が点灯します。
●設定後、時間が経過するとタイマー表示が切り換わり、残りの目安時間を表示します。
●設定時間を経過するとタイマー表示が消え、停止します。

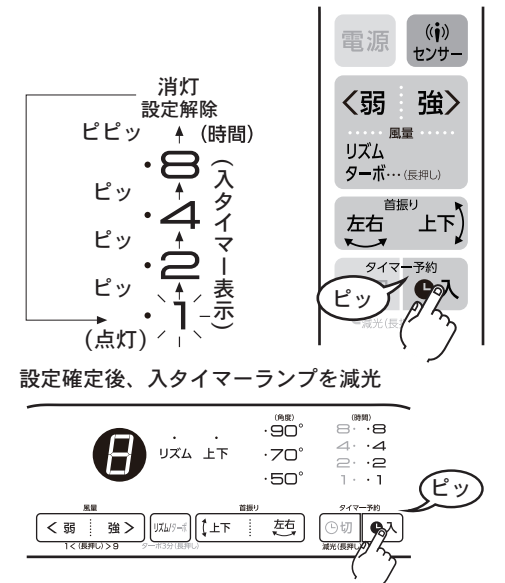
●切タイマーを設定しなおす場合は、再度切タイマーボタンを押して再設定してください。

ご注意

●切タイマーを設定中にターボ運転を行うと、タイマー設定が解除されますので、ターボ運転終了後に再設定してください。

<入タイマーを設定する>
設定時間になると、運転を開始します。

※入タイマーは、運転中は設定できません。

●運転停止中に入タイマーボタンを押すと、運転を開始するまでの時間を設定できます。
●押すたびに右図のようにタイマー設定時間が切り換わり、タイマー表示が点灯します。
●入タイマーの時間を設定すると、風量・リズム・首振り(上下/左右)・センサーも設定できます。
●最後の操作から10秒後に設定が確定します。
●入タイマーが動作するまで、タイマー設定時間の表示は減光され、それ以外の表示部は消灯します。
●設定が確定すると、タイマー表示が残りの目安時間を表示します。
●入タイマー時間になると、タイマー表示が消え、設定された状態で運転を開始します。

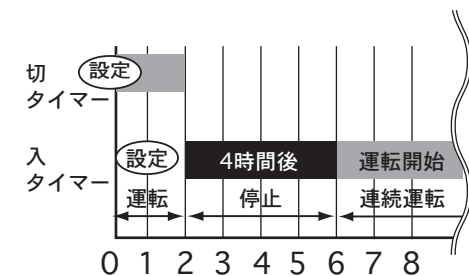
●入タイマー確定後に時間や、風量など再設定する場合は、変更したい箇所のボタンを押して変更してください。

<切タイマーと入タイマーを同時に設定する>
就寝時に切タイマーで運転を停止させ、起床時に入タイマーで運転を開始させたいときなどに便利です。

※切・入タイマーの同時設定は、運転中でないと設定できません。

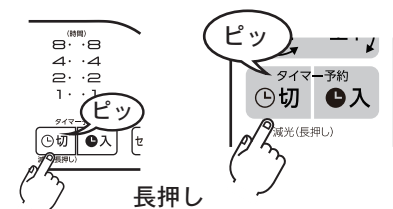
●運転中に切タイマーボタンを押し、運転を停止する時間を設定してください。
●次に、入タイマーボタンを押し、運転を開始する時間を指定してください。

(例)2時間後に運転を停止し、停止から4時間後に運転を開始する場合

①切タイマーボタンを2回押します。
切タイマー表示の『2』が点灯します。
②入タイマーボタンを3回押します。
入タイマー表示の『4』が点灯し、設定が確定します。

●切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。
●切・入タイマーを設定しなおす場合は、再度切/入タイマーボタンを押して、再設定してください。

■各表示を減光表示させるとき

就寝時に各表示の明るさをおさえたいときなどに便利です。

●切タイマーボタンを長押しすると、各表示の明るさをおさえる減光表示になります。
●長押しするたびに、減光表示と通常表示が切り換わります。
※周囲が明るい場合、減光表示させると各表示は見えにくくなるためご注意ください。

■センサー運転の開始/停止

●センサーボタンを押すと、センサー表示が点灯し、人がいなくなったときに自動で運転が休止するセンサー運転に切り換わります。
●センサーが、人がいないことを感知してから約5分後に運転が休止になり、再び人を感知すると運転が再開されます。
●押すたびにセンサー運転と通常運転が切り換わります。

(点灯)
ピッ
ピッ
電源
センサー

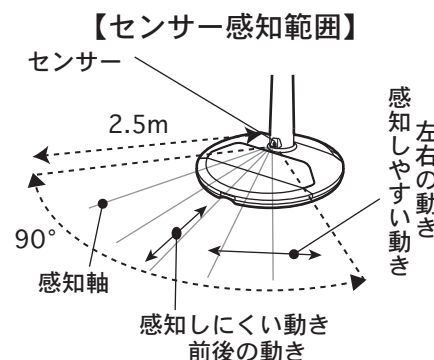
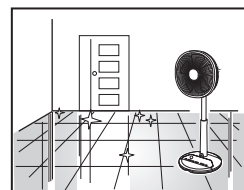
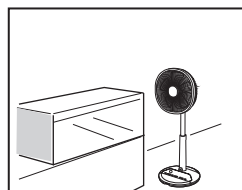
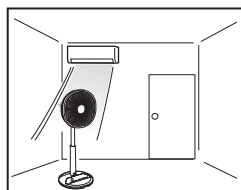
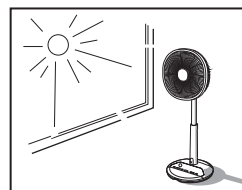
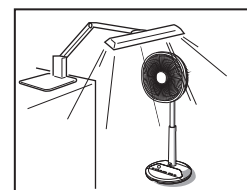
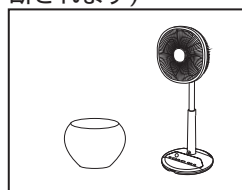
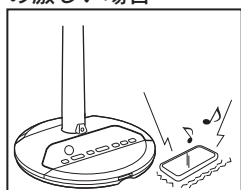
※自動休止中は、センサー表示が点灯します。
切タイマー設定中、切タイマーと入タイマーの同時設定中は、各タイマーの残りの目安時間も表示されます。

<センサー使用時のご注意>

ご注意
センサーは周囲温度の温度変化を感知して反応します。
この製品には赤外線センサーが内蔵されています。赤外線センサーは人体だけでなく動物(ペットなど)の移動、動作にも感知して反応します。また、水や空気の流れ、振動等にも反応する場合があり、気付かないうちに扇風機が作動することがありますので注意してください。

センサーが感知しにくいケース

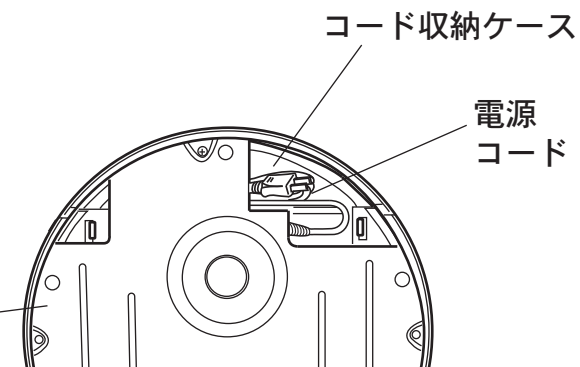
・センサー感知範囲内に人がいても、動作が少ない場合運転が停止することがあります。
・気温や、室温が体温に近い環境では感知範囲が狭くなります。
・温度変化の激しい場所では正しく反応しないことがあります。
・センサーに向かって真正面から近づくと感知しにくい場合があります。(右図参照)

【センサー感知範囲】
センサー
2.5m
90°
感知軸
感知しやすい動き
左右の動き
感知しにくい動き
前後の動き

●次のような場合にセンサー運転をすると、センサーの感知不能、誤動作、故障の原因になりますので、ご注意ください。

大理石など反射の強い床面の場合

前方に障害物のある場合
(透明なガラスでも遮断されます)

エアコンの吹き出し口近くや吹き出し口に対向する場合や温度変化の激しい場合

直射日光のあたる場合

温度に影響するような強い発光物がある場合

置物などが近くにある場合

強い電波を発信する製品が近くにある場合

センサー部は定期的に清掃してください。
●表面に汚れが付着していると、感度が鈍くなったり、動作不良を起こす原因となります。柔らかい布で乾拭きしてください。

※各機能のどれか一つにでも不具合が生じた場合は、ただちに使用を中止してください。
(例：風量『9』に不具合が生じたが、『リズム風』風量『1～8』『ターボ風』であれば正常に作動する。)

■ご使用にならないとき

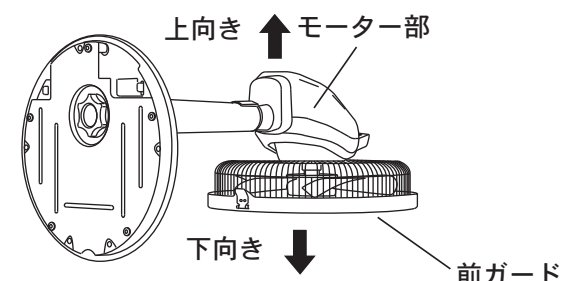
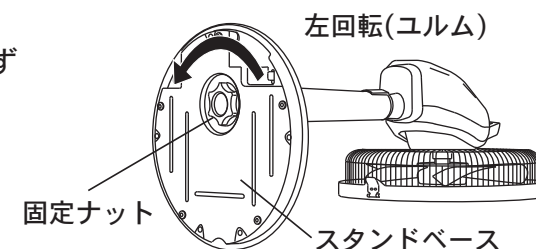
●扇風機をご使用時にならないときは、差込みプラグを抜いてください。
●電源コードは、スタンドベース底面のコード収納ケースに収納することができます。
●扇風機を使用する場合は、電源コードを全てコード収納ケースから出してください。

お手入れと保管について

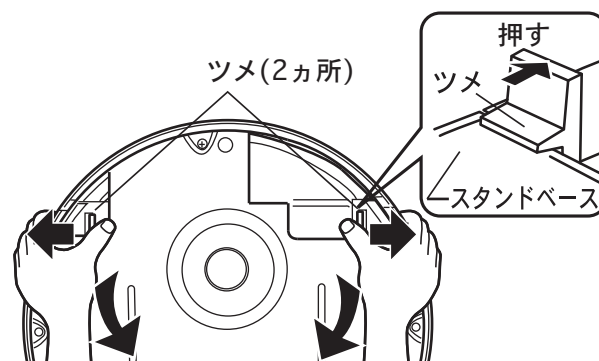
⚠警告
禁止
取りはずしやお手入れの前に、必ず差込みプラグをコンセントから抜いてください。
●モーター軸が回り出し、ケガの原因になります。

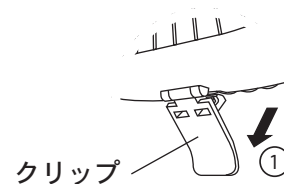
取りはずし方

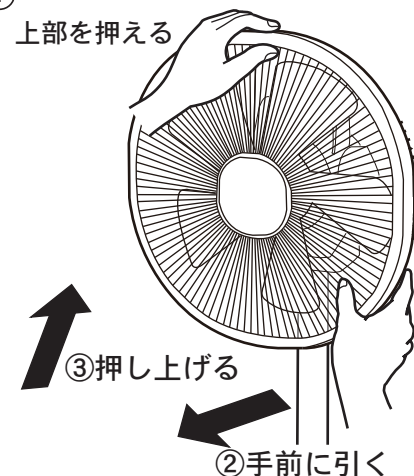
1 スタンドベースをはずします。

注意
必ずガードを取り付けた状態で行ってください。
●モーターの故障の原因になります。

①前ガードを下に、モーター部を上に向けて本体を横に倒します。

②スタンドベース底の固定ナットをはずします。

③ツメを親指で外側に押しながらスタンドベースを手前に引くようにしてはずします。

※スタンドベースをはずした後、スタンド固定ナットはスタンドポール底部に元通り取り付けてください。

2 前ガードをはずします。

①クリップをはずします。

② ガード上部を押え、下部を手前に引いて前ガードの下側半分をはずします。

③前ガード下部を上に押し上げて、前ガードをはずします。

3 羽根・後ガードをはずします。

●羽根及び後ガードは、『組み立て方』と逆の順序ではずしてください。

お手入れのしかた

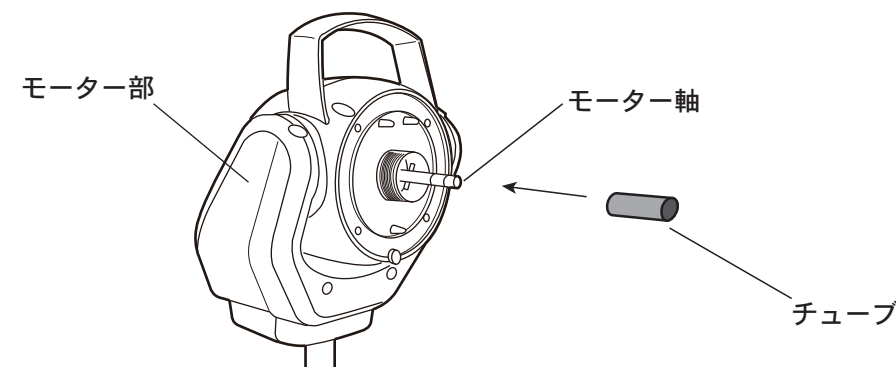
⚠注意	禁　止	シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などでふかないでください。 ●樹脂や塗装部分が変色、変質するおそれがあります。
⚠注意	禁　止	化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。 ●変質したり塗装がはげたりすることがあります。

1 羽根・本体のお手入れ

ぬるま湯か中性洗剤を浸した布でふき取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。センサー部は柔らかい布で乾拭きしてください。

2 差込みプラグのお手入れ

長い間ご使用になると、差込みプラグのプラグ部分とコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふきとってからご使用ください。

3 モーター軸のお手入れ

モーター軸は、よく汚れを取った後、全面にうすくミシン油を塗り、もとどおりにチューブをかぶせてください。

保管のしかた

包装ケースの説明図通りに梱包し、湿気の少ないところに保管してください。

仕　　様

項目	仕様
品　番	UF-DHR30F
電　圧　(V)	100
周波数　(Hz)	50/60
消費電力　(W)	22
回転数　(r/min)	1100
風　速　(m/min)	225
風　量　(m^3/min)	56
首振角度　(度)	上90　下15　左右50　70　90(自動)
コード　(m)	ビニルコード　1.6
高　さ　(mm)	725～950
質　量　(kg)	5.1

●運転停止状態の消費電力は約0.9Wです。(差込みプラグを差し込んでいる状態)
●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY .

修理サービスを依頼する前に

■故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになり、それでも原因が分からないときや、その他異常や故障があるときはあるときは、お買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
『電源』を押しても羽根が回らない	●差込みプラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか? ●羽根とガードが当たっていませんか？ ●リモコンの電池が消耗していませんか？
異常音がする	●羽根はしっかりと取り付けていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けていますか? ●羽根とガードが当たっていませんか? ●風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」「ウォーン」と音がすることがありますが、インバーターモーター特有の音で異常ではありません。 ●首振り運転時に「カタカタ」「コトコト」と音が一時的に強まることがありますが、首振りモーター特有の音で異常ではありません。
首振りが一時的に止まる	●首振りの角度が両端のとき、首振り用モーターが位置を確認するために一時的に空回りしているためです。
リモコン操作できない	●絶縁シートを取りはずしていますか？ ●本体操作パネル受信部に向けて操作していますか？ ●電池が消耗していませんか？ ●電池の入れ方(⊕ ⊖の方向)が間違っていませんか？
入タイマーが設定できない	●差込みプラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●入タイマーは停止状態か切タイマー設定中のみ設定できます。
運転が自動的に止まる	●切タイマーを設定していませんか？ ●センサー運転中ではないですか？
停電後、正常な運転ができない	●差込みプラグを抜いて差しなおしてください。

■エラー検知について
以下のようなときは運転できません。(運転中にエラー検知した場合は運転を停止します)
差込みプラグを抜いて点検をしてください。

こんなとき	おたしかめください
風量表示が E 点滅	●運転中、ガード内に何かが入り、羽根の回転を無理やり止めませんでしたか？ →羽根の回転を止めているものを取り除き、運転してください。

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。

修理サービスについて

(1)保証書
●この製品には、保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買上げ日より1年間です。

(2)修理を依頼されるとき
●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
●保証期間が過ぎているときは
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3)補修用性能部品の保有期間
この扇風機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後８年です。

(4)ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5)修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体に西暦4桁で表示してあります）

※【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-1による

環境条件	電圧	単相100V又は単相200V	製品の定格電圧による。
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65％	
	設置	標準設置	機器の取扱説明書による。
負荷条件		定格負荷（風速）	機器の取扱説明書による。
想定時間など	運転時間	8（h／日）	
	運転回数	5（回／日）	
	運転日数	110（日／年）	
	スイッチ操作回数	550（回／年）	
	首振運転の割合	100（％）	
注記　環境条件の湿度65％は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

●「経年劣化とは」・・・長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。